

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組12	地域コミュニティ主体の交流空間の整備
②対応する目標・課題	地域の福祉・介護	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:健康な高齢者の割合	■目標値:82.7%(H17年度)⇒80%以上(H28年度)
	■評価指標:介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	■目標値:59.5%(H22年度)⇒65.0%(H28年度)
④取組内容	<p>人口減少の進行を背景に、今後増大する空き地等の有効活用や、地域コミュニティにおける人と人の結束力を強化(ソーシャルキャピタルの向上)する交流空間の形成を目指し、町内会等の地域コミュニティが主体となって、空き地等を農園や広場等として再生、管理運営するコミュニティガーデンの仕組みのモデルづくりを行う。具体的には、民有地である空き地について、町内会等の団体が所有者の了解を得て農園や広場、庭園として再生し、地域活動等に活用する場合、整備に係る費用を助成する。</p>	
⑤エリア	中心市街地または公共交通沿線居住推進地区	
⑥主体	自治振興会(町内会)、富山市	
⑦活用した国等の制度	なし	
⑧地域の関与	<p>【実績】・実施主体である自治振興会、町内会等の団体の整備に対する支援や技術的な指導及び助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有地の活用の検討 ・取組に対する富山市の支援等 	
⑨スケジュール		
23年度	事業スキームの調査・検討	
24年度	自治振興会等へのヒアリング、実施可能な空き地の状況等の調査	
25年度	実施団体の募集・選定、事業の実施	
26年度	実施団体の募集・選定、事業の実施	
27年度	実施団体の募集・選定、事業の実施	
28年度	実施団体の募集・選定、事業の実施	
29年度以降	事業の実施	
⑩他の取組との連携	<p>取組名:ヘルシー&交流タウンの形成</p> <p>連携内容:中心市街地におけるヘルシー&交流タウンの形成と、身近な地域における交流空間の整備を一体として展開することで、高齢者の外出機会や多様な世代間交流の機会が充実する。ヘルシー&交流タウンの形成と、地域コミュニティにおける交流空間の整備は、NPOや地縁組織など市民との協働が不可欠であり、組織や人づくり、人的ネットワークづくりなどの面において、それぞれの取組みで得られた知見を相互に共有しながら進める。</p>	
⑪自立・自律の方針・目標	<p>●ソーシャルキャピタルの醸成を通じた地域コミュニティの自立促進</p> <p>地域の絆を育み交流の場となるコミュニティガーデンの形成により、多世代・世代間の交流を促進し、地域におけるソーシャルキャピタルを醸成することで、地域の課題は、地域が主体となって取組むなど、地域コミュニティの自立を目指す。</p> <p>●空き地の適正管理による外部不経済の抑制</p> <p>将来的に世帯減少時代を迎える頃には、コンパクトなまちづくりを進めていても、住宅・宅地ニーズの減少に伴い、市街地において空き地の増加が見込まれる(特に、道路・交通条件が良くないなど、立地条件が不利なエリアで集中して発生することが見込まれる)。空き地の放置は、防犯機能の低下やゴミの不法投棄の誘発などの外部不経済が懸念されることから、空き地を住民が主体となって適正に管理する仕組みを整備することにより、外部不経済を抑制することを目指す。</p>	